

完全合理性

- 合理的意思決定
↳ 完全合理性 = (意思決定者) の の最大化
- 完全合理性を満たす意思決定
= すべての代替案から意思決定者の目的を最大に達成する案を選択すること

- 目的の設定… 効率性、安全・安心、
- 一般的には「」の最大化を目的
- ⇒ 純便益 (= 便益 - 費用) が最大になる代替案の選択
= 意思決定

便益…政策が社会に対してもたらす
費用…政策を行う上で社会が支払う

- (Homo Economics) 仮説

公平

- 何かを するときに求められる
- 分配の3つの次元
 - Who 分配の受取人
 - ex 選挙権 納税額、性別、年齢
 - 公平の問題 ex 給料の差
等しくないものを等しくなく扱う cf 水平的公平 等しいものを等しく扱う
 - 集団への分配の公平を優先すべきとの主張 ex アファーマティブアクション
 - What 分配されるもの
 - 分配されるものの定義
 - How 分配の
 - 結果の を受け入れてもらう前提
 - 競争、抽選 機会の平等

効率性

- / を最大化すること
 - 最大限の便益と最小限の費用
 - 何か他の価値や目的を実現する際の方法に関する概念
- but 「効率性の概念は論者によって異なる政治的な主張」
 -
 - 図書館の効率性
 - 限られた費用でできるだけ多くの図書の購入→安い文庫・新書を多く集める？
 - できるだけ多くの人に借りてもらう→ベストセラーや漫画だけを置く？
 - できるだけ多くの人に来てもらう→子供の保育、受験勉強の場所の提供？
 - 図書のレファランスサービスの効率性 司書の数と待ち行列

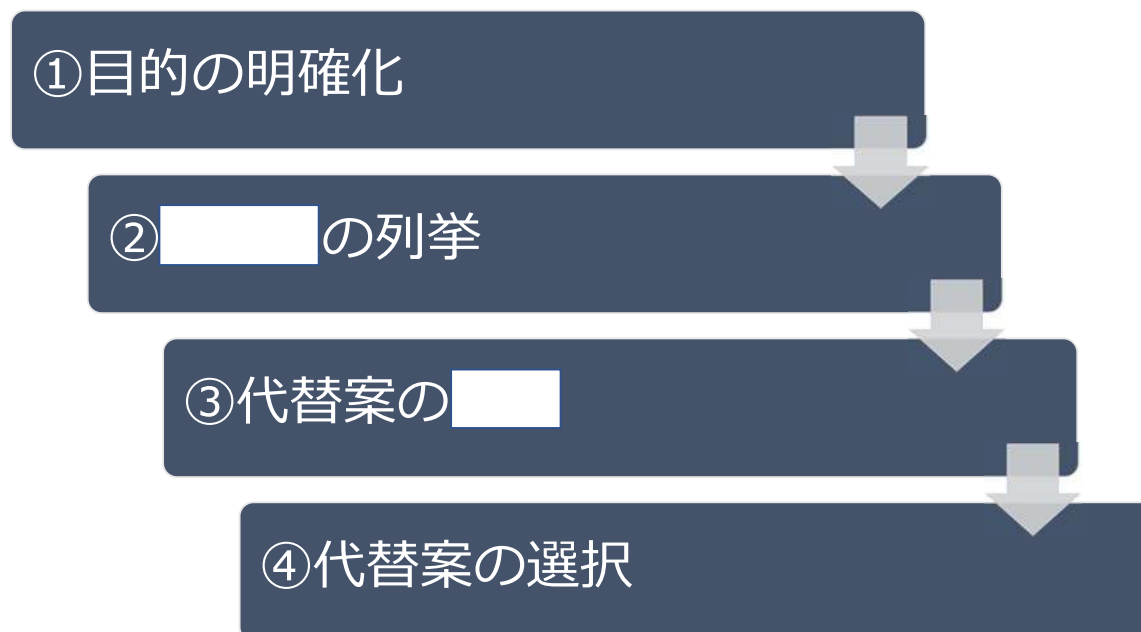
安全・安心/ 自由

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 安全・安心の保障 <ul style="list-style-type: none"> …最低限のニーズが満たされていること • ニーズの諸側面 <ul style="list-style-type: none"> • シンボリック • <input type="text"/> • 人間関係にかかわるものも • 安全に暮らせること <ul style="list-style-type: none"> • 災害対応 | <ul style="list-style-type: none"> • 自由 <ul style="list-style-type: none"> …人は <input type="text"/> 限り行動の自由を持つ（ミル） • <input type="text"/> …政府が介入して止めるべきなのは、どのような行為・程度なのか <ol style="list-style-type: none"> ① 身体 ② 所有物 ③ アメニティ ④ 精神的心理的 • 公共政策を実現させようとする政治的行為としては、より上位の危害と再定義可能かどうかポイント |
|--|---|

政策の判断基準

- ある政策を実施すべきかどうかについて規範的に判断する場合に使われる基準
- 基準
 - ある政策を実施することによって、少なくとも1人以上の状態が改善され、 状態
- カルドアーヒックス基準
 - を考慮に入れる
 - ある変化によって
 - ①利益を得る人 と
 - ②損をする人 がいても、
 - ①が②の損失に対して理論上補償を行い、その結果パレート基準が満たされるのであれば、 基準が満たされる

合理的意思決定のプロセス



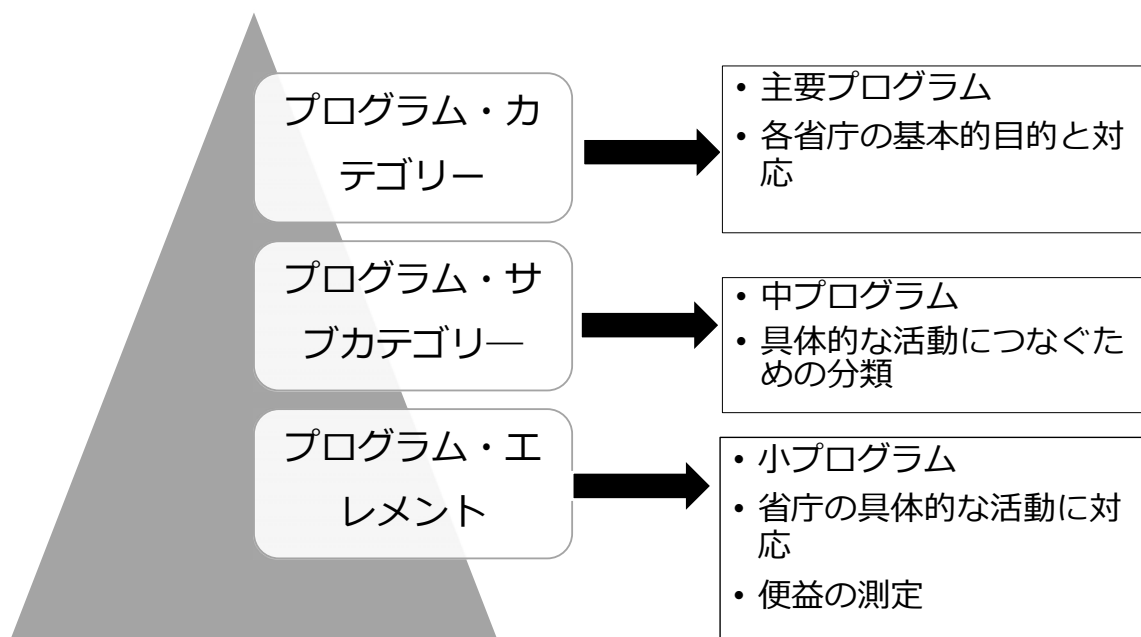
合理的意思決定のプロセス

- ① 目的の
 個々のアクターの目的異なる
 ⇒
 社会全体での の必要性
 ・社会全体での 価値
 体系の構築
 ・複数の価値の相対的重要度
 に関する情報が必要に
- ② 代替案の列挙
 ・すべての案を探索
 ・どのような (要因) が
 を達成するか
 要因→目的 (因果関係)
 ・想定される代替案の検討
 ・代替案に関する情報
- ③ 代替案の評価
 列挙された を
 評価
 * A案をとった場合の結果
 * B案をとった場合の結果
 * . . .
 * . . .
 全結果についての情報が必要
 ⇒各代替案の純便益の計算
 ⇒ をもとに計算
 ・計算できる能力
- ④ 代替案の選択
 ・最も効率的な代替案を選択
 する能力

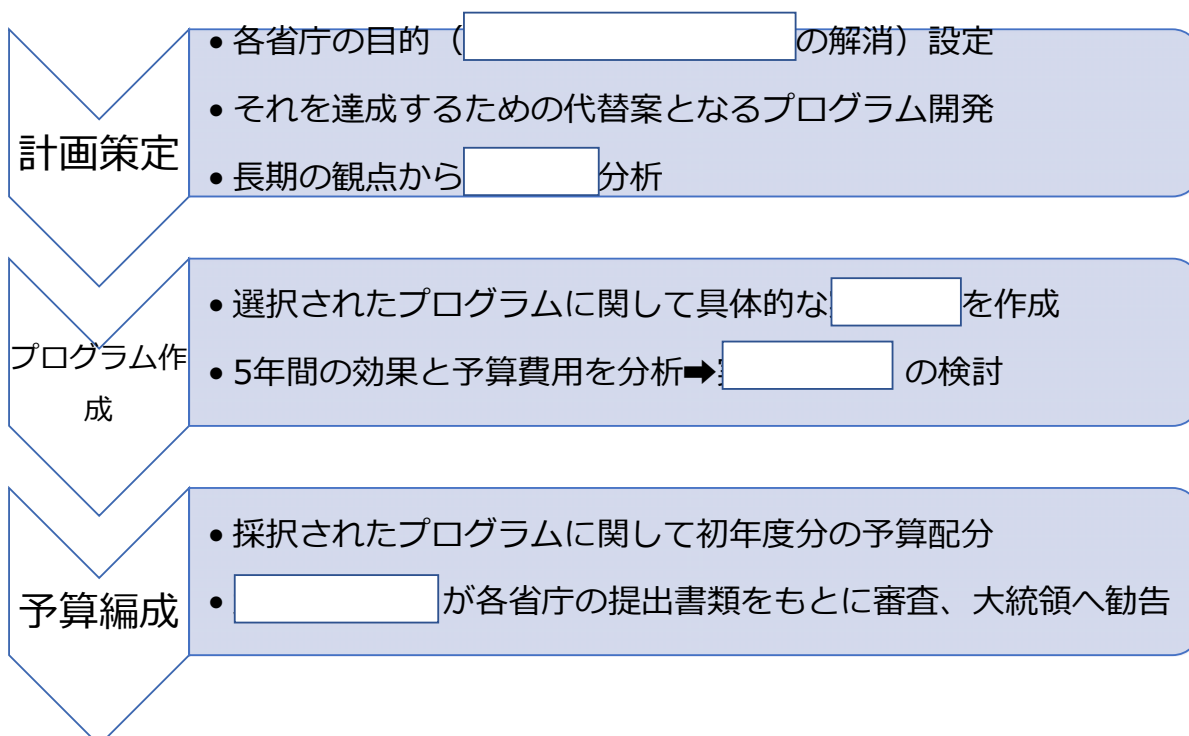
PPBS

- ・マクナマラ国防長官 (政権)
 ・軍事計画と の統合に着手←ランド研究所
 ・代替案比較分析、中長期計画策定、通年意思決定、評価に基づくマネジメント、の改革
- ・連邦政府予算改革の流れ
 ・予算の支出統制(1921~)
 ・予算のマネジメント機能(1930s)
 ・予算にもとにした計画志向(1960s)
 長期計画と予算編成の連結
- ・ 政権でPPBS導入
 ・ Planning Programming Budgeting System
 計画プログラム予算システム
 ・ 1968年度予算~全省庁で実施
 ・ 長期計画の策定(Planning)と単年度の予算編成(Budgeting)をプログラム作成
 (Programming)を通じて結合し、両者の相互関係を緊密化・体系化しようとするもの。
 ・ 成否は な
 体系の構築にかかる

PPBS 担当プログラムの体系化



PPBS



PPBSの挫折

- 3年で廃止
- システム上の問題
 - 政府活動の [] との不一致
 - 各省庁の独自性の問題
中プログラム以下は各省庁の独自設定→政府全体の管理システムが構築不可
 - 省庁間の政策領域の問題
複数の省庁を横断するもの→既存の組織の自律性を侵害するとして警戒される
 - 主要プログラムの数について各省と予算当局の間に意見の対立
- PPBSの目標が [] を得にくかった
 - PPBS…資源配分活動の合理化・効率化目指し、組織横断的な政策評価を要求→組織の存在理由を絶えず検討→各省の指示得にくい
 - 実施上の負荷
 - 分析スタッフや資金の不足
事務コストも膨大…
“Paper Producing Budgeting System”
- 予算編成の「 [] 」の無理解

マクロ合理性とミクロ合理性

- 重要な区別
 - マクロ（ [] ）合理性
 - ミクロ（ [] ）合理性
- [] やゴミ缶モデル
 - 政府や公共機関の合理的意思決定過程に集団が携わる可能性に疑問を呈す
- マクロ合理性の否定を受け入れ、 [] を保持するのは可能
 - 公共政策に関わる個人を [] 主体として描くモデル

ミクロ合理性 公共選択モデル：ニスカネン

- 公共政策の公共選択モデル
 - …個人の合理性を再確立
 - By 学派
 - 公共部門の意思決定に選択の合理性モデルを適用
- 公共政策において鍵となる個人
 - 市場参加者同様、を最大化 by ニスカネン
 - → を図る官僚、歳入を最大化する
 - …公共経営を特徴付ける

ミクロ合理性 修正モデル：

- 公共選択モデル…
 - 「自己利害という動機付け」は公共選択モデル全てに共通すると仮定
 - ←相当の批判を浴びる
 - 露骨すぎる、
 - 単純すぎる
- P.ダンレビー
 - モデル
 - 基本の仮定を若干変更
 - 公的機関は **戦略**を取ると仮定
 - 官僚組織の改善を目指す。
 - よりを行って定型的ではないサービスを提供する

限定合理性の概念

- H. サイモン
 - 完全合理性の概念のベースを批判
 - 目的の明確化→代替案の列挙→代替案の評価→代替案の選択
- 完全合理性概念の非現実性
- 人間の能力の3つの限界
 - ① の問題
 - 人間が保有、探索できる情報や知識は限定的かつ断片的
 - ② の困難性
 - 判断基準となる価値が現在と将来で一貫しているか
 - 価値変化の予測困難
- ③ の限界
 - 人間がとりうる行動は物理的に限られている
- 限定的合理性の概念提示
 - ↓
 - 満足化モデルの提示
 - 仮説 (Administrative Man)
 - 経済人…最適化志向
 - 経営人
 - 要求水準の満足化を志向
 - 要求水準満たす代替案が見つかれば、探求を停止、その代替案を選択

連続的限定的比較

- C. リンドブロム
- 合理的意思決定の問題点
 - ①目的と手段の関連
 - 現実の意思決定では、目的と手段は常に分離できない
 - 社会全体での統一的な価値体系はまれ
 - ②分析の限界
 - 分析は様々な制約から不完全なものになる
 - 人間の能力の限界、時間の制約
- ③合意としての決定
 - 社会にとって望ましい目的の設定、個々の手段の評価…困難
- (漸進主義) の概念を提示
- 連続的限定的比較
 - 合理的包括的意思決定アプローチとの比較
 - 教科書144頁、表7-1

最適モデル

- ドロア

- 合理的意思決定の非現実性指摘
- 価値の体系化の不可能性、分析能力の限界

- モデル

- 政策決定のあるべき姿を示した規範モデル
- 具体的な特性
 - ① 定性的側面の重視
 - ② 超合理的プロセス
 - 「直感」や「判断」を取り込む
 - ③ 経済的合理性の重視
 - ④ メタ政策決定の重視
 - 政策決定のための制作
 - ⑤ フィードバックの重視
 - 政策決定システム自体の改善

- 最適モデルの4段階

- ① **メタ の段階**

社会全体の価値、問題、リソースの特定。配分

- ② **政策決定の段階**

目標と価値の設定、代替案探索、費用便益分析、最善の代替案群の形成、結果についてよいかどうか評価

- ③ **ポスト政策決定の段階**

政策の実施

- ④ **フィードバックの段階**

- 教科書146頁、表7-2